

きのこの山 たけのこの里 チョコっと行楽シート

行楽のお供にきのこの山、たけのこの里を食べたくなる企画

健康にアイデアを

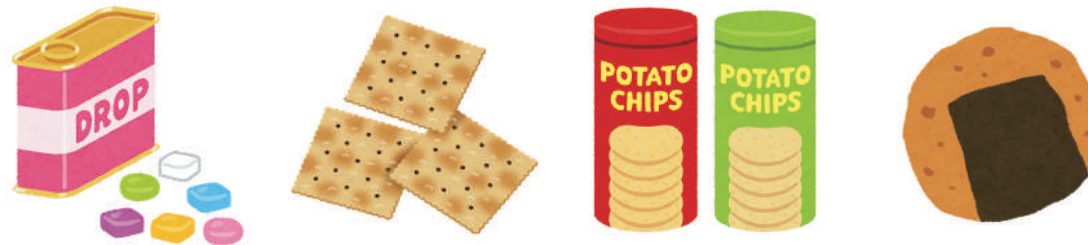
meiji

与件の整理

きのこの山、たけのこの里は老若男女誰もが知っている おいしいお菓子。
しかし、なかなか行楽のときに思い出してもらえないこと少ないのはなぜか。答えはシンプル。

日本のお菓子は、**選択肢が多すぎる!**

コンビニに行けば見たこともない新商品が毎日のように発売。
グミ、飴、ポテトチップス、お煎餅など、行楽のお供にはライバルはたくさん…



本商品の強み

しかし、きのこの山たけのこの里には他のお菓子にはない大きな強みがある。

それは、持っているだけで

“どっち派？”

というコミュニケーションが広がる、たのしくておいしいお菓子 だということ。



本企画のアプローチ

そこで、今回の企画は新宿地下にいる人たちに



きのこの山、たけのこの里を実際に
行楽に連れて行ってもらい、



きのこの山、たけのこの里があると
行楽がたのしくなる！

と思ってもらうことで、「行楽のお供」になることが目標です。

きのこたけのこ チョコっへ行楽シート

新宿御苑、新宿中央公園、代々木公園など、
実はここ、新宿からもピクニックを楽しめるスポットはたくさん。

おいしいお菓子とコーヒーを持って、
ひとたび芝生の上にレジャーシートを広げれば、
いつもと違うカフェタイムのできあがり。

今日はきのこたけのこと一緒に、
お外でチョコっひといき、しませんか？



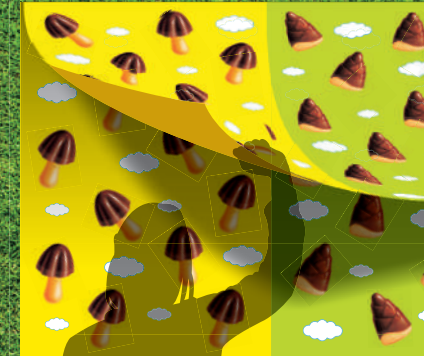
きのこたけのこ
チョコっへ行楽シート

きのこの山 たけのこの里 チョコっと行楽シート

新宿御苑、新宿中央公園、代々木公園など、
実はここ、新宿からもピクニックを楽しめるスポットはたくさん。

おいしいお菓子とコーヒーを持って、
ひとたび芝生の上にレジャーシートを広げれば、
いつもと違うカフェタイムのできあがり。

今日はきのこの山たけのこの里と一緒に、
お外でチョコっとひといき、しませんか？



新宿駅地下の壁一面に、剥がすと“レジャーシートになる広告”を設置。

企画・体験の設計

新宿地下にいる人たちに、レジャーシートを持って
そのままピクニックに出かけてもらえるような体験を設計する。



STEP01

壁に貼られているのは、
デザインのちがう4種類のポスター。



STEP02

好きなポスターをペリっと1枚剥がせば、
そのまま外で使えるレジャーシートに大変身！
シールがついているから、
くるっと巻いて持って帰れます。



STEP03

剥がしたシートをよく見ると、
裏面にはQRコードが。
読み取ると、旅のコンシェルジュが
新宿付近の行楽スポットを教えてくださいます。

公園では、レジャーシートに座る人たちが

そのままきのこの山、たけのこの里の広告に！



企画の効果

新宿近郊でできるお手軽なピクニック体験と
レジャーシートを座るときに広がる「どっち派？」コミュニケーションを通して
「行楽のときに会話が広がる、おいしくて楽しいお菓子」という認知を獲得する。



まとめ

行楽のお供になる「おいしいお菓子」には、ライバルがたくさん。

そこで、他のお菓子にはない強みである

「どっち派？」のコミュニケーションを生かして、

「行楽のときに会話が広がるコミュニケーションツール」として使ってもらうことで

きのこの山たけのこの里を食べたくなる気持ちを醸成します！

